

指定管理者事業報告書（令和4年度末報告）

令和5年4月30日 提出

担当課	文化課
-----	-----

施設名	三原市芸術文化センター ポポロ		連絡先	0848-81-0886
指定管理者団体	団体名	一般財団法人 みはら文化芸術財団		
	代表者名	館長 片山 杜秀		
	所在地	三原市宮浦二丁目1番1号		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
館長	1人（1人）	0人	法人アドバイザー	1人（1人）	0人	法人担当・総務グループ 責任者 担当者	2人（0人）	2人
事務局長（副館長兼務）	1人（0人）	1人	事業企画グループ 責任者 担当者	3人（1人）	2人	舞台管理グループ 責任者 担当者	2人（0人）	2人
副館長（統括課長兼務）	1人（0人）	1人	地域文化事業 グループ リーダー 担当者	3人（2人）	1人	受付グループ 担当者	6人（4人）	2人
常勤職員（合計）	11人		非常勤職員 （合計）	9人				

2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】α	実績【年間実績】β	達成率 β ÷ α	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	R4. 4. 1～R4. 12. 28 R5. 1. 4～R5. 3. 31	R4. 4. 1～R4. 12. 28 (内6/30, 9/20, 12/6臨時休館)  R5. 1. 4～R5. 3. 31 (内3/14臨時休館)	98.9	A	A	設備点検等4日間 条例に従って実施されている。
開館日数(X)	359	355	98.9	A	A	条例に従って実施されている。
開館時間	午前9時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
延べ利用者数 (Y=a+b)	100,000	79,826	79.8	A	A	概ね計画に沿っている。
うち通常業務(a)	75,000	37,208	49.6	B	B	計画を大幅に下回っている。利用者増に向けて努力が必要である。
うち自主事業(b)	25,000	42,618	170.5	S	S	計画を上回っている。
延べ利用日数(Z)	1489	1542	103.6	A	A	概ね計画に沿っている。
稼働率(②)	59.3	62.1%	104.7	A	A	概ね計画に沿っている。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用者数}(Y)}{\text{開館日数}(X) \times \text{利用定員}(1日あたり \text{ 〇〇人})} \times 100$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用日数}(Z)}{\text{開館日数}(X)} \times 100$

※2 稼働率欄の( )内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	197	計画なし	54.9%	210	34,229	59.2
ホワイエのみの利用	75	計画なし	20.9%	34	5,921	9.6
リハーサル室	215	計画なし	59.9%	189	3,469	53.2
練習室1	287	計画なし	79.9%	344	2,887	96.9
練習室2	287	計画なし	79.9%	347	2,730	97.7
会議室大	287	計画なし	79.9%	263	1,712	74.1
その他	141	計画なし	39.3%	155	28,878	43.7
合計	1,489	100,000	59.3%	1,542	79,826	62.1

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 235 日			土日祝日 120 日			通年 355 日		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	106	9,095	45.1	104	25,139	86.7	210	34,234	59.2
ホワイエのみの利用	16	1,894	6.8	18	4,022	15.0	34	5,916	9.6
リハーサル室	93	1,368	39.6	96	2,101	80.0	189	3,469	53.2
練習室1	234	2,102	99.6	110	785	91.7	344	2,887	96.9
練習室2	228	1,810	97.0	119	920	99.2	347	2,730	97.7
会議室大	174	1,047	74.0	89	665	74.2	263	1,712	74.1
その他	96	8,335	40.9	59	20,543	49.2	155	28,878	43.7
合計	947	25,651	57.6	595	54,175	70.8	1,542	79,826	62.1

### 3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価		
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容	
1 施設管理体制	職員配置	A		A	適切に配置されている。	
	職員研修	A		A	適切に実施されている。	
	利用促進業務	A		B	(通常業務に関して)利用者増に向けて努力が必要である。	
	設備・備品管理	A		A	適切に管理されている。	
	現金管理	A		A	適切に管理されている。	
	安全体制管理	A		A	適切に管理されている。	
	緊急時の対応	A		A	引き続き迅速な報告、連絡に努めていただきたい。	
2 利用者に関する業務	利用状況	A		B	(通常業務に関して)利用者増に向けて努力が必要である。	
	利用料金の設定	A		A	適切に設定されている。	
	接客対応	A		A	適切に対応されている。	
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。	
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。	
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。	
4 実施事業	企画運営事業	A		A	適切に実施されている。	
	自主事業	A		A	適切に実施されている。	
	通常事業の内容	オリジナル情報紙発行	A		A	適切に発行されている。
		ホームページ運営	A		A	適切に運営されている。
		友の会/ポポロクラブ運営	A		A	適切に運営されている。
		公演チケット販売	A		A	適切に販売されている。
		レッツ パフォーマンス!	A		A	入場者数が概ね計画に沿っており、収支が計画を上回っている。
		広島ウインドオーケストラ三原特別公演 (助成:エネルギー文化・スポーツ財団) (助成:ARTSforthefuture!2)	A		A	収支(赤字額)が計画を上回っているものの、入場者数が概ね計画どおりであった。
	広島ウインドオーケストラ アウトリーチorワークショップ	中止		-		
	《音楽との出会いⅧ》DUO×DUO (協賛:(株)八天堂) (助成:ARTSforthefuture!2)	A		A	収支(赤字額)が計画を上回っているものの、入場者数が概ね計画どおりであった。	
	中川英二郎ワークショップ	A		B	入場者数が計画に達しておらず、かつ、収支(赤字額)が計画を上回っている。	
	スライド・モンスタース (トロンボーン・カルテット) ジャパンツアー2022 (助成:アートキャラバン事業)	A		A	25歳以下の来場が全体の1/4を占め、さらに遠方からの来場があったことは評価できる。	
	大阪交響楽団三原特別演奏会 (協賛:大和ハウス工業)	A		S	入場者数、収支ともに計画を上回っている。	
	たいらじょうワークショップ	A		A	新聞紙を使用した創作体験、劇遊びを通して、表現の場を提供できたことは評価できる。	

たいらじょう人形劇「ピーターパン」 (助成：アートキャバレッジ事業)	A		A	中国地方初の新しい形の人形劇公演を提供できたことは評価できる。
《新しい音楽の風XI》 ルミエ・サクソフォン・カルテット (協賛：(株)八天堂) (助成：アートキャバレッジ事業)	A		A	新規入場者を呼び込めたことは評価できる。
アウトリーチ ルミエ・サクソフォン・カルテット (市内小・中)	A		A	鷺浦小学校児童を対象に、近距離で生演奏を鑑賞できる機会を提供できたことは評価できる。
《ボボロでバッハを弾く》 鈴木優人 チェンバロ・リサイタル (助成：ARTSforthefuture!2)	A		A	収支が赤字だが、入場者数が概ね計画に沿っている。
《開館15周年記念》 【古典芸能への誘い】野村萬斎 狂言の夕べ	A		A	入場者数が概ね計画に沿っており、収支が大幅に計画を上回っている。
イルミネーション2022	A		A	イルミネーションを設置するだけでなく、様々な企画を同時開催することで、概ね計画とおりの成果を出せたことと評価できる。
《ポポロプレミアムリサイタル》庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル (助成：子供文化芸術支援事業)	A		A	文化庁子供文化芸術体験支援事業により、子どもを招待し、ホールで生演奏を鑑賞する体験を提供できたことは評価できる。
《開館15周年記念》 みはら風と海のコンサート 交流事業 合唱ワークショップ	A		A	市民が参加できる企画や、幅広い年代が楽しめる音楽を盛り込むことで、概ね計画とおりの成果を出せたことと評価できる。
《開館15周年記念》 みはら風と海のコンサート (助成：自治総合センター)	A		A	市民が参加できる企画や、幅広い年代が楽しめる音楽を盛り込むことで、概ね計画とおりの成果を出せたことと評価できる。
反田恭平&務川慧悟 2台ピアノ	A		S	入場者数、収支ともに大幅に計画を上回っている。
英哲風雲の会 和太鼓ワークショップ	A		S	入場者数、収支ともに大幅に計画を上回っている。
《開館15周年記念》 林英哲と英哲風雲の会 和太鼓演奏会	A		B	入場者数が計画に達しておらず、かつ、収支(赤字額)が大幅に計画を上回っている。
藤木大地&みなとみらいクインテット	A		B	入場者数が計画に達しておらず、かつ、収支(赤字額)が大幅に計画を上回っている。
片山杜秀プロデュース公演 林光の音楽(ホワイエ)	中止		-	

自主事業の内容

Musica Gioiello 川東陽華 和のひびき コンサート ～初夏の香りを三味線と囃子の音色に 乗せて～	A		S	入場者数、収支ともに大幅に計画を上回っている。
《Musica Gioiello》② 近隣地域で活躍する若いアーティスト	中止		—	
みはら芸術祭2023〔舞台芸術部門7団 体出演〕	A		A	昨年度は中止となったが、今年度、 地域の文化芸術活動の発表の場を提 供できたことは評価できる。
Let's スタインウェイ ①	A		S	入場者数、収支ともに計画を上回っ ている。
Let's スタインウェイ ②	中止		—	
Let's ホワイエ① 串山華菜&平田桃子デュオ・コンサート ～昼下がりに贈る癒しの旋律～	A		A	入場者数が概ね計画に沿っている。
Let's ホワイエ② 「The sleeping beauty act3 - original-」	A		S	入場者数が計画を上回っている。
三原市委託事業「NHK公開収録」 吹奏楽のひびき	A		S	収支が計画を上回っている。
MIN-ON 広響コンサート (共催：MIN-ON広島)	A		A	収支が計画よりも下回っているもの の、黒字となり、入場者数が概ね計 画に沿っている。
セトウチ・ジャズ・キャッスル2022 (共催：セトウチ・ジャズ・キャッスル実行委員会)	A		A	収支が計画を上回っている。
小林愛実ピアノ・リサイタル (共催：広島ホームテレビ)	A		A	収支は赤字だが、入場者数、収入と もに大幅に計画を上回っている。
三浦祐太郎コンサート (共催：広島ホームテレビ)	A		A	収支(赤字額)が計画内に収まってお り、入場者数、収入ともに計画を上 回っている。
高嶋ちさ子と12人のヴァイオリニスト (共催：キャンディプロモーション)	A		S	入場者数、収支ともに計画を上回っ ている。
石井琢磨ピアノコンサート(ホワイエ) (共催：イープラス)	A		A	遠方からの多くの来客があったこと は評価できる。
アンパンマンミュージカル まもれ！黄金の炎(2回公演) (共催：広島テレビ)	A		S	入場者数、収支ともに計画を上回っ ている。
アコム“みる”コンサート物語 「100万回生きたねこ」(共催：アコ ム)	A		A	幅広い年齢層、障害のある方が芸術 に触れる機会を提供できたことは高 く評価できる。

映画鑑賞会 (5/14(土), 28(土), 29(日))	A		A	入場者数、収支ともに計画を上回っている。
こどものアトリエ (受講24名)	A		A	継続的に創作活動ができる場を子どもたちに提供する企画であり、概ね計画どおりの成果を出せたと評価できる。
ポポロmore+ (モアプラス) (助成：地域文化倶楽部創設支援事業)	A		B	中学生を対象に、文化芸術を支える仕事を学ぶ機会を提供したことは評価できる。参加者が目標より少ないことは課題である。
三原の作家を知る・味わうPart4 染色家 杉谷富代 ～生命を染める～	A		B	作家について独自に調査研究し、注力されている事業であるが、支出が計画を大幅に上回っている。
三原の作家を知る・味わうPart4 染色家 杉谷富代 ～生命を染める～ ワークショップ	A		A	染色家・杉谷富代の木染め技法を用いてコースターを制作することで、ものづくりの楽しさを感じてもらい機会を提供できたことは評価できる。
バックステージツアー	A		A	夏休みプロジェクトとして、主に小中学生に向け、貴重な機会を提供している。
開館15周年記念 ポポロと三原のモダン建築	A		B	入場者数が計画を上回っており、多くの人が惹きつけられるテーマであったと言える。現地見学の方法は検討課題である。
小早川隆治×岡田市長×片山館長 対談 「戦国時代から現代へ～小早川家から三原市が引き継いだ歴史資料について～」	A		A	小早川家から三原市に引き継がれた歴史資料を紹介し、市民に歴史文化を伝える機会を創出したことは評価できる。
イルミネーションワークショップ	A		A	オーナメントとして飾れるアイシングクッキー作りを子どもから大人まで楽しまれ、ポポロイルミネーションを盛り上げる一端となったことは評価できる。
三原の作家を知る・味わうPart5 漆 田代明樹男・映像 黒田教裕 「物質と記憶」のトレモロ	A		A	郷土作家のコラボレーション展示という、独自の展示空間を生み出したことは評価できる。
三原の作家を知る・味わうPart5 漆 田代明樹男・映像 黒田教裕 ギャラリートーク・講座	A		A	作家本人が創作に対する熱い想いを伝えることで、展示に一層興味を持ってもらえる場となったことは評価できる。
三原の作家を知る・味わうPart5 漆 田代明樹男・映像 黒田教裕 ワークショップ	A		A	漆を使ってオリジナルの箸を制作することで、日本の伝統文化を身近に感じてもらい機会を提供できたことは評価できる。

	文芸三原60号	A		A	幅広いジャンルの作品の発表の場として、市民から長く愛されている。引き続き60号を発行されたことは評価できる。
	みはら映画祭(共催：市民映画祭実行委員会)	A		A	市民に映画鑑賞の機会を提供したこと、三原市にゆかりのある映画を上映することで、映像文化の振興に寄与したことは評価できる。
	みはら芸術祭2023 〔美術展 展示部門・お茶席・華展〕	A		A	三原市内で創作活動をしている団体や、「こどものアトリエ」の発表の場を提供できたことは評価できる。
	みはら芸術祭2023 ワークショップ	A		A	子ども向けのお茶席体験や創作ワークショップを実施し、文化に触れる機会を子どもたちに提供したことは評価できる。

4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入】 合計		207,484,000	230,341,515		
利用料金		24,453,000	19,529,590	施設利用料、付帯設備使用料、駐車場収入等	<p>【収入】 利用料金が大幅に計画を下回っている。利用者増加に向けて努力が必要である。各種補助金、寄付金が計画を大幅に超えている点は評価できる。</p> <p>【支出】 事業費の自主事業部分が計画を大幅に超えているが、これは新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、当初の計画より多くの事業を実施することができたためであり、必要経費であったと認められる。</p> <p>【収支】 最終的な収支が黒字となっていることは評価できる。</p>
自主事業収入		26,170,000	27,899,450		
指定管理料		151,760,000	151,760,000		
委託料		0	3,623,790	自主事業に対する文化庁の支援事業 NHK公開収録	
その他		5,101,000	27,528,685		
	友の会会費	1,000,000	1,063,000		
	レストラン	2,058,000	1,862,278		
	その他	2,043,000	24,603,407	各種手数料(委託販売、自動販売機、コピー代等)各種補助金、寄付金	
【支出】 支出		207,484,000	229,542,969		
人件費		56,892,000	59,272,305		
	常勤	55,892,000	58,920,085	報酬、給与、賞与、法定福利	
	非常勤	1,000,000	352,220	非常勤報酬、パート職員、舞台臨時	
事務費		14,918,000	14,791,584		
	消耗品費	2,100,000	1,495,398	一般消耗品、舞台消耗品	
	備品購入費	0	883,124		
	その他	12,818,000	12,413,062	管理経費、手数料、雑費、その他	
事業費		44,900,000	61,255,112		
	通常業務	6,735,000	8,063,763	広告料、ホームページ費、印刷製本費、賃借料	
	自主事業	38,165,000	53,191,349	文化事業費、旅費交通費、通信運搬費、研修費及び諸会費	
施設維持管理費		85,341,000	87,371,126		
	設備管理費	50,242,996	48,150,796	舞台、建物、音響・照明管理、舞台保守	
	保安警備費	7,100,004	7,100,004		
	光熱水費	26,872,000	30,964,886	電気、ガス、上下水道	
	修繕費	1,126,000	1,155,440		
その他		5,433,000	6,852,842		
	保険料	300,000	287,640	公立文化施設賠償責任保険	
	税金等	5,133,000	6,565,202		
【収 支】		0	798,546		
支出のうち委託費		59,241,000	59,773,398	設備管理費、保安警備費、清掃費、音響照明担当	

## 5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
「セトウチ ジャズキヤッスル」（共催）の公演の翌日、当日来場のお客様から電話にて飲食についてのご意見があった。ホワイエは飲食禁止だと思って飲食を我慢していたのに、スタッフが水を飲んでいたのはどういうことか。	ホールは飲食禁止であるが、ホワイエは禁止としていないことを伝え、飲食の可否の表示が不案内であったことを伝えた。	主催者にこの件を伝え、今後の対策を依頼した。	納得しているかは不明。	主催者への対策依頼の継続を求める。
広島から宮浦公園へ遊びに来られた方が、分からず多目的グラウンドへ車を停めたところ、警備員よりきつく言われ不愉快な思いをされた。	グラウンド利用の説明と、対応の事についての謝罪をした。	警備会社はその旨を伝え、改善を求めた。	ホール用なら分かるように掲示物を出しておくべきとのご意見でした。	案内の掲示についても検討を求める。
三山ひろしコンサートの際、多目的グラウンドに無料で停められると聞いていたが、満車で停められなかった。台数に限りがあるとの説明はなかった。	満車の場合は有料駐車場へご案内になることをご説明し、謝罪した。	今後の問い合わせには、無料駐車場と有料駐車場の両方をご案内することとした。	説明がなかったのに、支払わないといけないのは納得いかない。	利用者への案内の徹底を求める。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

## 6 運営上の課題、市への要望等（ご自由にお書きください。）

内容	担当課回答
リハーサル室の施設利用料の単位が「区分」なのに対して、備品の単価は「時間」単位となっている。備品の利用時間は自己申告制をとっており、正確な時間を把握するのは困難な状況にある。一方でホールは施設料金も、備品料金も、区分単位となっている。整合性をとるため、今後、区分単位の料金設定を指定管理者で検討したいので、ご助言をお願いしたい。	「区分」単位とは、施設の基本使用料の使用区分（午前・午後・夜間）をそれぞれ単位としたものであり、3～4時間で設定されている。 利用者側の立場で考えると、実際に利用する時間数が3～4時間に満たない場合、「区分」単位より「時間」単位の方が比較的安価に使用できるという点は大きなメリットである。 利用時間の管理体制について、再度検討いただきたい。
リハ室や練習室について、利用者から室内温度上昇について改善要望が出ている。リハ室については、ホールとリハ室の空調が同じ系統のため、冷暖切り替え後でないと、リハ室に冷房が入らないことが原因と考えられる。指定管理者でできる対策（サーキュレーター数台による換気）は実施しているが、それだけではあまり効果がなく、抜本的な解決に至らず対応に苦慮している。同様の事案は今後も想定されるため、対応・改善をお願いしたい。	快適な環境が保たれるよう対応策を検討している。
長寿命化工事にあたり、施工時の詳細打ち合わせをされる際には、利用者の声を把握している指定管理者へのヒアリングをされ、可能な範囲でヒアリング内容を施工に反映されるようお願いしたい。	長寿命化改修工事は施設の予防保全、安全性の確保等を目的とし、施工されるものであり、その目的に沿った利用者の声が反映されるよう、情報共有に努めたい。

## 7 市担当課総合評価

- 1 通常業務の利用者数が下回っている。新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へ回復させる努力が必要である。
- 2 事故発生の場合など、緊急時の対応について、引き続き迅速な報告、連絡に努めていただきたい。
- 3 各種補助金、寄付金が計画を大幅に上回っている点は評価できる。
- 4 光熱水費の節約は評価できる。今後も節約しつつ、快適に利用できる空間を維持していただきたい。